

1 8 学校教育

2 <1. 現状と課題>

3 【教育内容の充実】

左右で対応

> 予測困難な社会の変化に主体的に関わり、自ら考え可能性を発揮する「生きる力」を身に付けるとともに、ふるさと郷土を愛する心がでたくましい人づくりを目指します。

> 本市では、学力向上に向けて、学習指導要領を踏まえた授業を推進するとともに、小中英語教育の推進や学校図書館の利活用の促進などに取り組んできました。平成 31(2019)年度全国学力・学習状況調査の結果によると、本市の教科に関する調査結果は、小学校の国語が全国平均を若干下回ったものの、他の教科では全て全国平均を上回っており、概ね良好という状況です。一方で、学習習慣や生活習慣に関する調査結果から、家庭での学習時間が短いことなどが明らかになっています。

> 豊かな心を育成するには、豊かな情操や規範意識、自己肯定感、対面でのコミュニケーションなどを通じて人間関係を築く力などの育成を図ることが重要であり、本市では、道徳教育・人権教育の推進や異年齢交流など人間関係づくり活動の充実に取り組んできました。

> 運動する児童生徒とそうでない児童生徒の二極化傾向や食生活の乱れなど、児童生徒を取り巻く健康問題を改善することは、健やかな体づくりに取り組む上で課題となっています。

> ① 基本施策（分野）の名称を示しています。

> ② 当基本施策を推進する必要性・根拠として、施策を取り巻く現状と課題を整理しています。

> ③ 右側の「施策 1、2・・・」に対応する現状と課題を施策ごとに記載しています。

> ④ 施策ごとに今後 10 年間で推進していく取組について、目的（～のため）と取組内容（手段）（～する）を整理して記載しています。

> ⑤ 施策ごとに、施策を推進するために実施する主な取り組み（事業）の例を「当施策における主な取り組み」として記載しています。

> は拡大しており、児童生徒と向き合う時間を確保する必要があります。

> 児童生徒の増減の状況は各地域により異なることから、市内には大規模校や小規模校など、規模の違う学校が併存しています。学校の著しい大規模化や小規模化は、学習指導要領だけでなく、学校運営面においても、より多くの課題を生じさせる恐れがあることから、地域や保護者の意見を聞きながら、学校規模及び配置の適正化に向けて計画的に対応策を講ずる必要があります。

<2. 施策の方向>

4 施策1 教育内容の充実

5 自立して、主体的に社会に関わることができる子供を育成するため、確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体づくりを進めます。

当施策における主な取り組み

- ◆ 学習指導要領を踏まえた主体的な学習の推進
- ◆ ICTを活用した教育の充実
- ◆ 小中一貫英語教育の推進
- ◆ 主権者教育の推進
- ◆ 道徳教育の推進
- ◆ 体力の向上・健康教育の推進

施策2 ニーズに応じた支援の充実

児童生徒の複雑かつ多様な課題に対応できるよう、特別支援教育の推進、不登校児童生徒や帰国・外国人児童生徒への支援の充実を図ります。

◆ 市立小・中学校の規模・配置の適正化